

歯学教育学入門（二瓶智太郎）

Introduction to Guide to Dental Education (Tomotaro Nihei)

キーワード

- ① 歯学教育学
- ② 教育理論・教育システム
- ③ カリキュラムプランニング
- ④ 大教室講義
- ⑤ 小グループ教育

授業概要

歯学教育学入門は、教育の実践や開発を行うために必要な基本的な知識を修得することを目的として開講する。授業は講義形式で実施し、神奈川歯科大学の教育システムを理解し、実践するために必要な、概略や教育用語に関する理解を深める。また、能動的な学修方法として、KJ法、problem based learning、team based learningの特徴や、従来型の大教室での講義の特徴などについて解説する。さらに、教育シラバスを作成し、実践するために必要な、教育目標、種々の学修方略や評価法などに関する基本的知識について学修する。

授業科目の学修目標

医学系教員は、教育学を学部で学ぶことなく、医学教育に従事しなくてはならない。したがって大学院研修において、医学教育の理論を理解し、学部教育で行われている単位制、各種教育方略、評価方法などについて学び、将来の大学指導者として必要不可欠な知識を修得し、各種学習方法を体験すること目標とする。

授業計画

- ① 教育学概論 4コマ 二瓶智太郎
・成人教育、教育用語、単位制
- ② 神奈川歯科大学の教育システムについて 2コマ 二瓶智太郎
- ③ 倫理教育 4コマ 二瓶智太郎
- ④ カリキュラムプランニング 4コマ 二瓶智太郎
・学習目標の設定、学習方略、評価
- ⑤ 大教室における講義法 6コマ 二瓶智太郎
・板書、パワーポイント、著作権
- ⑥ 小グループでの教育理論
・KJ法の体験 2コマ 二瓶智太郎
・Problem based learning 4コマ 二瓶智太郎
・Team based learning 4コマ 二瓶智太郎

教科書および参考書

参考書：医学教育ABC学び方、教え方（篠原出版）吉田一郎監訳

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

事前に、授業内容について予習して授業に参加すること。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 教育理論を説明することができる。
- ② 神奈川歯科大学の教育システムを説明することができる。
- ③ 倫理教育を説明することができる。
- ④ カリキュラムプランニング説明することができる。
- ⑤ 大教室での講義方法を説明することができる。
- ⑥ 小グループでの教育理論を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
50%	0%	30%	0%	0%	20%	0%

評価の要点

- ・試験は本科目で履修した知識について、筆記試験により確認する。 期末1回 50%
- ・レポートは授業の過程において必要な事項について提出を求め内容を評価する。 適時 30%
- ・口頭試問は各授業の授業中あるいは終了時に行い理解度を評価する。 30回 20%

理想的な達成レベルの目安

歯学教育学入門における理想的な到達レベルは70%以上とする。